

辰巳に期待し賀詞交歓会!

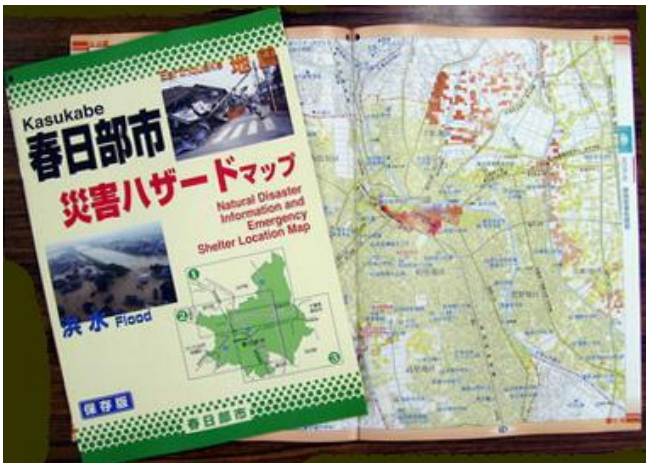
●平成24年、春日部地区浦高会・賀詞交歓会!

昨夕は、南桜井駅近くの「トラットリア・さくらの木」にて「春日部地区浦高会・平成24年 賀詞交歓会」が開催されました。会員31名にゲスト3名が加わり賑やかに約3時間を過ごしました。



午後4時30分、開宴前の時間に(財)埼玉県生態系保護協会支部長の三好さんから「春日部の自然

環境」について講話がありました【写真①】。



春日部市災害ハザードマップ【写真②】を基にして、春日部市の地形や浸水情報について話が始まりました。古利根川に飛来するカモが10数年前の600羽から今年は360羽に減少しているそうです。これは、カモのねぐらになる川岸や餌場の田んぼが減少していることも影響しているようです。枯れ草が堆肥となり芦原を作り、芦原には虫が育ち、それを啄む小鳥たちが生息する。そして、その糞が芦原を肥沃にしていくという生物連鎖がこの地域にあったのですが、少しずつ減っているのがカモたちの数にも表れているそうです。考えさせられますねえ…!

*

午後5時からの賀詞交歓会では、三輪会長から…。「本日は三好さん達のご案内で野鳥観察会が開催され、15名の皆さんが参加してくれたようで感謝申し上げます。昨日は地域職域同窓会責任者会議が開催され、私たちの活動を報告しましたが、地域に密着した活動に高い評価をいただきました。さて、今年は辰巳の年であり、相場の世界では『辰巳天井、戌亥の借金、辰巳で返せ』という諺がありますので、ぜひ、今年はよい年にしましょう。」



【写真③: あいさつをする三輪会長(中央右)】

続いて根本副会長(野田市長)から乾杯のご発声。「野田市のコウノトリについてお話をしますと、来年度の予算が議決されれば、今年の秋に6羽のコウノトリを購入する予定です。当初は1億6千万円かかりますが、翌年度からは2千万円程度の餌代などです。来春には外に戻したいと思っています。古利根川にも餌を啄みに飛来するような環境を作っていたきたいと思います。」【写真④: 乾杯挨拶の根本副会長】



今回の初参加は、30期(昭和53年卒)の島村玲郎さんと47期(平成7年卒)の伊藤貴成さんでした。
◆島村さん「祖父、父、弟、息子と春日部高校卒業生なので肩身が狭い状況です。越谷市に浦高会がないので参加させていただきました。どうぞよろしく。」
◆伊藤さん「浦高百年の森に柔道部OB会として参加し、豚汁を食べているところで鳥井さんにリクルートされました。これからは、どうぞよろしく。」

また久しぶりの先輩たちも…。

◆安藤晃二さん(10期、昭和33年卒)「昨年12月に仕事人生50年を無事に終えました。浦高時代は幸手から通いました。」

◆土屋達彦さん(13期、昭和36年卒)「3年前に大病を患い、やっと復帰しました。しかも40年前に新聞記者をしていた時代に過ごした南桜井での同窓会、感無量で二つ返事で出席させていただきました。数年前、皆さんに危機管理の話をさせていただきましたが、最悪の状況を想定して準備をしてください。」

清水幹夫さん(9期)から「政局の話」をいただき、最後は伊藤さんと牛久保聡さん(32期)の指揮で「校歌斉唱」で8時にお開きとなりました。(o)v